

★ ようこそ！東高ライブラリーへ！！

2024.5.31 仙台東高校図書委員会

新しいクラスにはそろそろ慣れてきた頃でしょうか。

図書委員の扉

さて、今回は図書館利用のおさらいです！

図書館利用について

開館時間：月～金 始業時～16：50

貸出冊数：1人3冊

貸出期間：1週間

※長期休業中や特別貸出期間は別途お知らせ

図書館でできること

★本の貸出・返却

★本の予約

読みたい本が貸し出し中の場合、カウンターで「予約」を入れることができます。

★レファレンス相談

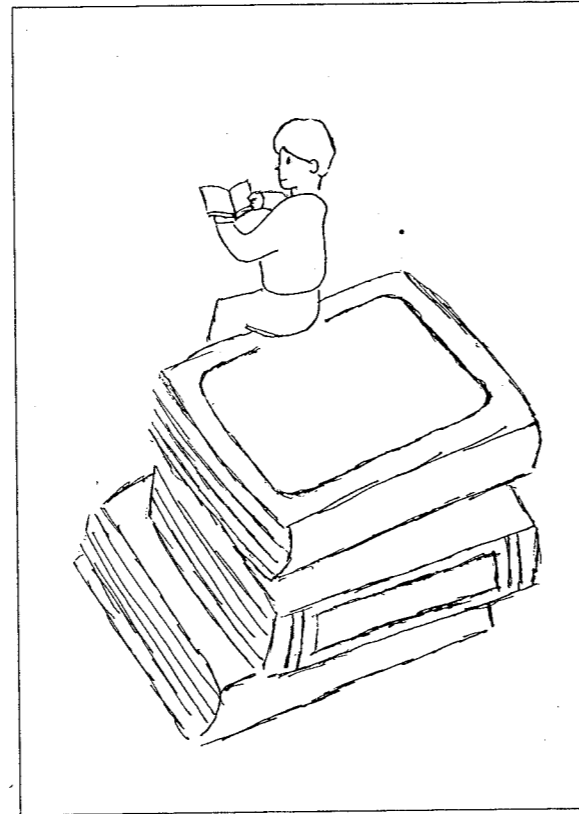
本が見つからない！何か読みたい！調べものがしたい！
そんな時はぜひご相談ください。

★本のリクエスト

図書館に入れてほしい本があったら、リクエストすることができます。

★蔵書検索・インターネット検索

館内のパソコンでできます！



☆雑誌紹介☆

図書館においてある雑誌です

	Newton (ニュートン) (ニュートンプレス)	オレンジページ (オレンジページ)	新聞ダイジェスト (新聞ダイジェスト社)
	見る世界が変わる。科学の面白さがわかる。驚きと興奮のサイエンスマガジン。	毎日をもっとおいしく、もっと楽しく暮らしがもっと楽しくなる生活便利マガジン	一ヶ月の主要ニュースがこの1冊に！新聞6紙の主要記事を項目別に整理して掲載
芸術新潮 (新潮社)	多聴多読マガジン (コスモピア)	ダ・ヴィンチ (メディアファクトリー)	AERA (朝日新聞出版)
「暮らし」はアートである、 がキャッチフレーズの芸術 総合雑誌。	初級から中級者向けの多聴 多読をテーマにした英語学 習誌。	本に関する情報が気になる 人は「ダ・ヴィンチ」を！本 とコミックの情報マガジン。	「時代」をキーワードに独自 の切り口で描くニュース週 刊誌。
SportsGraphicNumber (文藝春秋)	キネマ旬報 (キネマ旬報社)	non-no (集英社)	MEN'S NON-NO (集英社)
「ジャズ」から「サッカー」ま で、スポーツの魅力美しい 写真でお伝えします！	シネマライフのスタンダード 誌。1919年(大正8年) に創刊。	「おしゃれに見えて、でもや り過ぎない」HAPPYになれる ファッションマガジン。	感性を刺激するメンズフ ァッション・マガジン

☆新聞もあります☆

河北新報・朝日新聞・毎日
新聞・The Japan Times
alpha (英字新聞)

新聞を読もう

新聞を読まない？・読みます・読む・読めば・読もう

新聞読んでいますか？

新聞は大学入試の問題として多く出題されています。

進路対策として(小論文・面接・時事問題)、大学入試ばかりで無く公務員試験対策でも、一番いいのは新聞を読むことです。最近はネットで記事を読むから大丈夫、そう思っている人もいるかもしれませんが、ネットの記事は「読みたい記事を読む」ことになってしまいがちです。

関心のない記事には気づかないことも多く、進路対策にはなりません。

新聞だと、どこに記事が配置されているか、見出しのポイントや色(黒か白抜きか)、記事の分量はどのくらいか、一目でわかりますし、それによって記事の重要性も把握できます。

特に第一面。

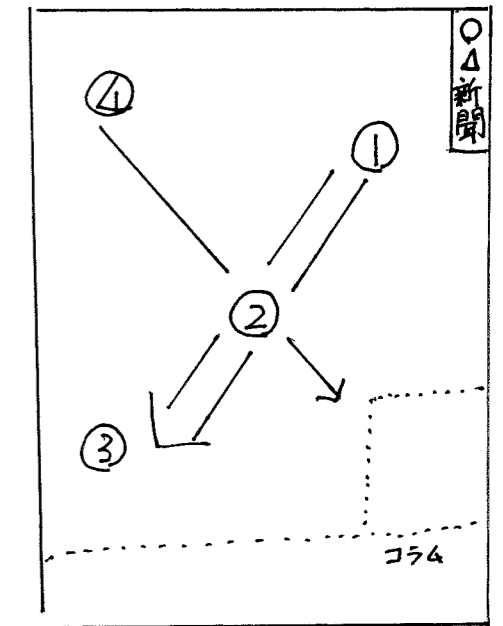
右上が一番重要な記事です。分量も多い。次が中央部、第三が左下。分量もだんだん少なくなってきます。

左上には時事性はないけれど重要な記事(連載ものなどがくることも多い)。つまり紙面をクロスさせるように記事が配置されています。

一番下に「天声人語」「余録」「河北春秋」などのコラム。

日本人は、この順番で紙面を読むことが研究されてわかっています。

さらに、政治・国際など時事性の高い記事ほど新聞の折り込みの外側にあり、家庭欄や文化欄、スポーツ欄など、時事性の少ない記事(あらかじめ作っておける記事)は内側にあります。新聞は中心部を前もって作っておいて、時事問題などは最後に作っています。気づいていますか？



ネットでは記事の重要性を把握するのが難しいのです。

さて、小論文や国語の読解の問題で頻出するのは「社説」や「天声人語」です。なんとといっても朝日新聞からの出題が多いです。その他、「オピニオン」からの出題が増えています。

小論文については「小論文の書き方」などの本もありますが、これらの本を読むより手軽で確実なのは、新聞を読むことです。時事問題など(最近は小論文における時事問題の占める割合が増えています)、本になった時点で古くなってしまっているのが、新聞で新鮮な記事に触れるのが大切です。それも一度や二度読むのでは無く毎日読むことが大切です。

試験ぎりぎりになって図書館に駆け込んでくる生徒も多いのですが、それでは十分な対策はとれません。

夏休み前からの対策が不可欠。

小論文の書き方のお手本となるのが「天声人語」(朝日新聞)や「余録」(毎日新聞)でしょうか。

800字前後で5~6段落。小論文の分量ぴったりです。「天声人語」をそのまま書き写すというの昔ながらの方法です。

読解や時事問題対策なら「社説」「オピニオン」。特に大学教授の執筆になるところは出題されることが多いようです。

公務員試験では河北新報が強いです。

同じ記事でも新聞によって切り口が変わるので、読み較べることも重要です。なにより面白いです。

新聞を取っていない家も多いですね。それは残念なことだと思います。図書館では英字新聞をふくめて4紙とっていますから、東高の皆さんには是非、新聞を読んでほしいと思います。

(文責須藤)

イラスト担当 3-4